

目次 CONTENTS

- **ごあいさつ** 01
Greetings
- **平成26年度 事業報告** 02
Report : Business Plan of 2014-2015 Gymnastics for All
- **一般体操指導員養成講習会** 03
Report : Instructor Course for Gymnastics for All
- **2014 世界選手権報告** 04
Report :2014 World Championships
- **2014 日本体操祭報告** 06
Report : 2014 Japan Gymnastics Festival
- **2014 日本体操祭参加団体** 08
Participation group of Japan Gymnastics for All Festival
- **各地の一般体操情報** 14
Gymnastics for All committee of local prefecture
- **2014-2015 各地の体操祭実施報告** 15
Reports : Gymnastics for All Festival of local prefecture
- **2014 一般体操ジャパン・チャレンジ&一般発表フェスティバル** 21
Reports : 2014 Japan Challenge & Performance Festival
- **海外の一般体操情報** 22
Report : Overseas Gymnastics for All
- **2015 日本体操祭の参加と登録の手続きについて** 26
Registration procedure for participation in the Japan Gymnastics Festival
- **日本体操祭出場資格および海外における体操祭への参加資格について** 27
Qualification for participation in the Japan Gymnastics Festival
Qualification for participation in Gymnastics Festivals in the world
- **平成27年度 事業計画** 28
Business Plan of 2015-2016 Gymnastics for All

ごあいさつ

Greetings



公益財団法人 日本体操協会
JAPAN GYMNASTICS ASSOCIATION

会長 二木 英徳

President of JGA FUTAGI Hidenori

イギリスでは「2012ロンドンオリンピック」を機にスポーツを定期的に楽しむ人の数が、オリンピック前と比較し170万人も増加していることがわかりました。特に、男性よりも女性の参加人数が顕著に増加していました。日本においても、「2020東京オリンピック」開催が決定し、日に日に国民の間でスポーツに対する意識が高まっており、また今秋に予定されています「スポーツ省」の設置とともに、さらに国民のスポーツへの関心は高まっていくことと存じます。

本協会もこれに対応すべく、いち早くから、一般体操の「全国の組織化」、「一般体操指導者の育成」、そして「地域体操祭の開催」と、受入体制の整備を進めて参りました。地域に根差した「新しいコミュニティの創造」により「スポーツを通じた地域の活性化」に貢献して参りたいと存じています。

一般体操は、国内においては広く国民の皆様は体操に興味を持っていただき、体操を通じて心身ともに健康を維持できるような社会の創出に貢献をし、世界においては世界の一般体操界をリードし発展させていくという使命を果たして参りたいと存じます。



一般体操委員会

委員長 荒木 達雄

President of Gymnastics for all
Committee
ARAKI Tatsuo

今夏、フィンランド・ヘルシンキにて世界体操祭 (World Gymnaestrada) が開催されます。4年毎に開催されるこのイベントは、FIG (国際体操連盟) が主催する最大級の体操祭であり、一般体操のオリンピックとも言える規模で50数ヶ国21,000名が参加します。

本記事にも記載していますが、日本からは500名が参加します。この期間中は、参加各国の体操仲間と友情の輪を広げられる絶好の機会です。

一般体操の基礎である、健康と動く喜び、体操仲間との結束は世界共通でしょう。

このように、一般体操を多くの人々に拡大させ、より豊かな健康生活の啓蒙に繋がっていきたくと考えています。今年度も更なる応援をお願いします。